

新たな学びの環境を生かして未来を切り拓く力を育てる

かけがわ学力向上宣言

- その1 生きて働く知識・技能を身に付けます。
- その2 未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力等を身に付けます。
- その3 学びを社会や自分の人生に生かそうとする学びに向かう力や人間性等を身に付けます。

21世紀を切り拓く力「かけがわ型スキル」をすべての教育活動で発揮

- ①思考力 ②問題解決力 ③意思決定力 ④情報の選択・活用力
- ⑤コミュニケーション力 ⑥地域や社会で生きるためのキャリア



新たな学びのスタンダード

一人一台端末を効果的に活用した授業改革

	つかむ	追究する	振り返る
	主体的・対話的に学びを深める姿を引き出す指導		指導と評価の一体化
授業展開	問いを引き出す ・導入の工夫 ・ICTの活用 短時間で子供の「～したい」が生まれる 「なぜ…なのかな。」 「どうすれば…」 「～を考えたいな。」	学び方の工夫 ・学習形態の工夫 ・ICT、 <u>教具</u> の利用 「自分の考えは他の考えと比べてどうだろうか？比較したいな。」 「あっ！そうか。その考え方は思いつかなかった。なるほど…」 「もっとこうしてみたらどうだろうか。提案してみよう。」	教師の働きかけ ・補助発問、指示 ・個に応じた支援 「～さんは…ができなくて悩んでいるな。次回はこの資料を活用して支援しよう。」 ・子供は付いた力の実感と自分の学習の調整 「～ができるようになった。」 「～はなぜ…なのかな？もう少し考えたいなあ。」
	授業を通して3つの創る力「創像力」「創合力」「創律力」を発揮しながら学ぶ		
ICTの活用	効果的に問いを共有 ・画像、動画の活用 ・大きく映す etc. 	考える材料の確保・多様性の可視化・学習活動の記録 ・インターネット活用 ・資料の共有 ・端末画面の共有 ・アプリ活用 ・写真、動画撮影 	・教師へ学習記録の送信 ・学習記録のデータ保存 etc.

学びのユニバーサルデザイン 言語活動の充実 プログラミング教育の充実 キャリアパスポートの活用

ICT環境（一人一台端末・高速ネットワーク）、ICTサポートヘルプデスク

学習支援システム

リアル学習とオンライン学習のハイブリッド

クラウド型グループウェアサービス

社会に開かれた教育課程の実現



大学や専門家とオンラインで連携し、学びを深化
 地域人材と協働的に学び、見方や考え方を広げる
 離れた学校の児童生徒と学びを共有
 ESDやシチズンシップ教育の機会を広げる

地域社会とつながるオンライン教育、遠隔授業

家庭での一人一台端末の活用



授業記録をデータ保存して持ち帰り、家庭学習に活用
 デジタル教材で個別に最適な課題に取り組む
 学習履歴をもとに自己の課題発見と学習計画の作成
 臨時休校時にオンライン学習を実施して学びを継続

端末の家庭への持ち帰りを前提とした環境整備

家庭・地域社会との協働、小中一貫教育の推進